

コーナー

# 市立病院だより⑥



院長 くにえだ やすゆき 國枝 保幸

**人材派遣センターとしての役割であった「医局」**

平成26年度、当院の医師数は、1名の初期研修医を含め総勢33名でスタートしました。

内科（消化器内科、神経内科、血液内科、肝臓内科）・外科・精神神経科は北海道大学から、産婦人科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科・小児科・皮膚科・泌尿器科は旭川医科大学の「医局」から派遣されています。

「医局」とは、医師の執務室、控室のことを指しますが、大学医学部附属病院が、頂点とする人事組織のこと

を「医局」といいます。医科系大学の医局の役割は、診療はもちろんですが、研究・教育という仕事もこなさなければなりません。そして、もう一つ重要な仕事が各地の病院に医師を派遣する、「人材派遣センター」としての役割です。

当院の内科の場合、北大医学部第三内科教室から医師が派遣されていました。

## 医師派遣能力を奪った「新臨床研修医制度」

新臨床研修医制度導入後、医局員不足に大学医学部の多くの教室が苦しむなか、第三内科には毎年10人前後の新入医局員が入り、一番入局者の多い教室で、「人

第三内科の専門分野は消化器と血液内科です。私の元々の専門は血液内科ですが、当院へ赴任していく内科医師のほとんどは消化器内科を志望しています。

大学医局が医師を派遣している病院を「関連病院」と呼び、第三内科教室にも札幌を初め、全道各地に関連病院があります。

国立北海道がんセンター・市立札幌病院・札幌厚生病院へは、血液・消化器の専門医が派遣されており、網走厚生病院・釧路労災病院・函館中央病院そして市立稚内病院は、その地域性から総合内科医として内科全般の疾患に対応しているのが特徴です。

材料派遣センターとしての役割をおおいに果たしてきたわけです。しかし、前教授の退官後、平成23年度から第三内科教室は消滅し、「消化器内科」と「血液内科」に完全に分かれてしまいま

す。また、消化器内科の新教授が決まるまでの2年間に新入医局員が全くないかつたことから、現状のまま関連病院の維持が難しいということで、平成25年から当院の内科医師が1人減

るということがなりました。また、関連病院である函館中央病院への医師派遣は中止となっています。循環器内科固定医が不在

新臨床研修医制度導入後、医局員不足に大学医学部の多くの教室が苦しむなか、第三内科には毎年10人前後の新入医局員が入り、一番

## 申請書の提出はお早めに！ 臨時福祉給付金。 子育て世帯臨時特例給付金

平成26年4月から消費税率が8%へ引き上げられたことに伴い、所得の低い方や子育て世帯に対して、「臨時福祉給付金」及び「子育て世帯臨時特例給付金」を支給します。

◆申請書は、郵送または直接窓口で提出することができます。また、窓口にお越しの際は、身分証明書および預金通帳、印鑑をご持参ください。

提出期限は、10月1日（水）です。

※平成26年1月2日以降に本市に転入された方は、1月1日現在に住民票があった市区町村にご確認ください。

### 問い合わせ／

市臨時福祉給付金支給事業・子育て世帯臨時特例給付金支給事業推進本部 ☎23-6201

給付金を装った「振り込め詐欺」や「個人情報の詐取」にご注意ください。

## 北大第三内科の関連病院



## 予防接種のお知らせ



平成26年10月1日（水）

から水痘（水ぼうそう）と高齢者肺炎球菌が定期予防接種となります。

**対象者／1歳から2歳の方**

※経過措置として平成26年度限り、3歳から4歳の

方も対象。

**高齢者肺炎球菌**

**対象者／**  
65歳の方（経過措置終了後）

平成31年度から

60歳から65歳未満の方で、特定の障がいを有する方

平成26年度から平成30年

度までの経過措置として

当該年度中に65・70・75

歳となる方、平成26年度

限りの措置として平成26

年度中に10・1歳以上と

なる方が対象。

※記載の年齢の方でも対象

外となる場合があります。

◆接種の方法や費用等の詳

細は、広報10月号でお知

らせします。

❖これまでの高齢者肺炎球菌予防接種助成を行っている70歳以上の方を対象とした助成は平成26年度で終了の予定です。